

令和6年度事業報告について

I. 総括

1. 沖縄県の入域観光客の概況

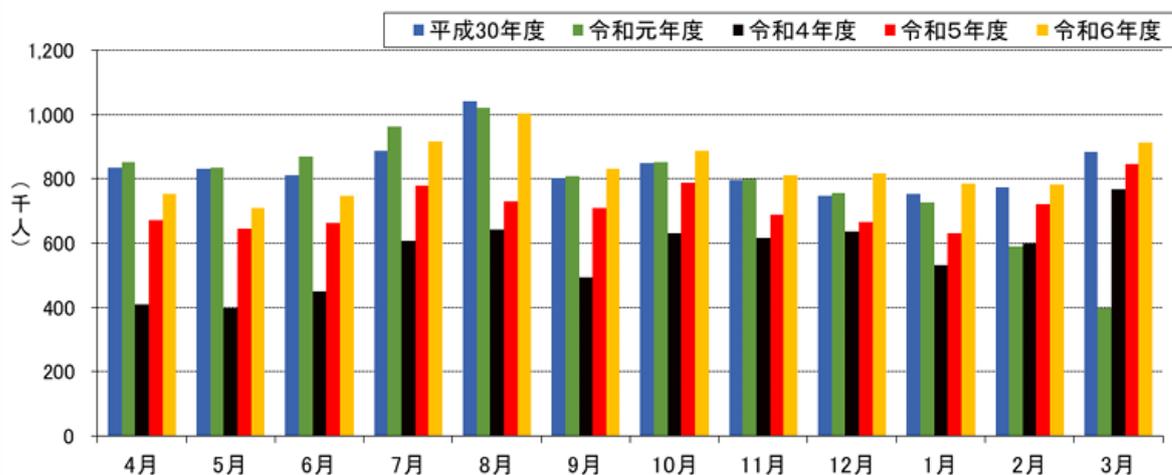
沖縄県の発表によると、令和6年度の入域観光客数は995万2,400人となり、対前年比で141万9,800人増（16.6%増）となった。

また、これまで最多を記録した平成30年度に対して99.5%の水準まで回復し、過去2番目の記録となった。

令和6年度は、国内観光客数が過去最高を記録したほか、外国人観光客数についても、国際航空路線やクルーズ船の再開・新規就航によりコロナ禍前（平成30年度）の水準に段階的に回復している。

令和7年度については、国内観光客数が好調な状況であること、外国人観光客数が航空路線の増便・新規就航があることやクルーズ船の寄港が多数予定されていること等から引き続き好調に推移すると見込まれる。

■ 月別入域観光客数の推移（平成30年度、令和元年度、令和4～6年度）



■ 令和6年度入域観光客の状況（令和5年度・平成30年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4	783.4	781.3	912.4	9,952.4
令和5年度	669.8	645.2	663.4	778.8	728.6	710.1	788.3	688.2	666.7	629.2	719.2	845.1	8,532.6
増減数	82.5	65.2	84.6	136.6	275.2	120.8	98.6	123.0	149.7	154.2	62.1	67.3	1,419.8
増減率	12.3%	10.1%	12.8%	17.5%	37.8%	17.0%	12.5%	17.9%	22.5%	24.5%	8.6%	8.0%	16.6%
平成30年度	833.2	830.9	809.7	885.8	1041.5	801.5	849.3	795.2	747.5	753.5	772.2	884.0	10,004.3
増減数	-80.9	-120.5	-61.7	29.6	-37.7	29.4	37.6	16.0	68.9	29.9	9.1	28.4	-51.9
増減率	-9.7%	-14.5%	-7.6%	3.3%	-3.6%	3.7%	4.4%	2.0%	9.2%	4.0%	1.2%	3.2%	-0.5%

出典：令和6年度 沖縄県入域観光客統計概況 文化観光スポーツ部 観光政策課

令和6年度の国内観光客については、4月～6月期は前年同期比で減少となったが、7月以降は台風等の大きな影響もなく、連休期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等の実績が好調に推移したことから、前年度比で増加となった。年度では、これまで最多であった令和5年度を上回り、過去最多となった。

また、外国人観光客については、航空路線の再開・新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等により、前年度比で102万8,700人の増(81.4%増)となった。平成30年度と比べると、航空路線の復便や新規就航、クルーズ船寄港回数の増加等に伴い段階的に回復しているが、中国本土便など一部航空路線やクルーズ船の運休の影響により76.4%の水準となっている。

空路客については、一部航空路線の運休があるものの平成30年度の52.8%に、海路客は平成30年度の26.0%まで回復した。

令和7年度の見通しとしては、国内客については、引き続き各方面からの輸送実績が好調に推移することが見込まれるほか、国内発着のフライ&クルーズが複数回予定されていること等から、堅調に推移すると見込まれる。

また、外国客についても、航空路線において那覇-台北/台中/上海/シンガポール/バンコク便の増便(3/30～)をはじめ、新石垣-香港/仁川路線の新規就航(4/3～)、新石垣-台北路線の新規就航(5/28～10/25)があること、大型クルーズ船の寄港も多数予定されていること等から、さらなる回復が見込まれると示されている。

2. 那覇市の入域観光客の概況

令和6年(暦年)の那覇市の入域観光客数は、854万2,120人となり、対前年比で111.2%、令和2年と比較すると約367%の超過、国内客においては約288%の超過となっている。

また、外国客についても、対前年比で154.4%超過となっており、クルーズ船寄港予定数や円安による効果も期待できること等から、さらなる回復が見込まれる。

【那覇市の入込観光客数の推移(直近5年間)】

	入込観光客数		国内客		外国客	
	人数(人)	対前年比	人数(人)	対前年度比	人数(人)	対前年度比
令和2年度	2,326,818	26.4%	2,326,818	36.5%	0	0.0%
令和3年度	2,935,820	35.3%	2,935,820	46.3%	0	0.0%
令和4年度	6,083,803	207.2%	5,884,984	200.5%	198,819	-
令和5年度	7,680,193	126.2%	6,484,419	110.2%	1,195,774	601.4%
令和6年(暦年)	8,542,120	111.2%	6,696,331	103.3%	1,845,789	154.4%

3. 那覇市観光協会の取り組み概要

4月の大型イベントとなる沖縄国際映画祭・国際通りレッドカーペットが開催され、多くの観客でにぎわった。続く5月の那覇ハリーは、「第50回」の節目の開催となり、来

場者へのオリジナル記念グッズ(エコバック)の配布や、初の市内高校生ハーリーの開催、市内宿泊施設と連携した那覇ハーリー特別宿泊プランの造成等の記念事業を実施し、期間中3日間で約16万2千人の来場となりました。

・10月の那覇大綱挽まつりは当協会が従前所管してきた「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」の代替イベントとして、てんぶす広場前とパレットくもじ前でのステージイベント「TSUNA フェス」を開催し、伝統行事の旗頭行列・大綱挽とあわせて多くの参観者で賑わいました。

12月のNAHA マラソンは21,000人余(前年13,000人余)のエントリーを得て、天候にも恵まれ、重篤な熱中症等の事案もなく無事に大会を終えた。

2~3月プロ野球「読売巨人軍那覇キャンプ」については、キャンプ期間中に95,000人余の観客動員の実績を上げるものとなった。

II 令和6年度事業

1. 観光情報誌「NAHA-NAVI」発行事業

那覇市内のマップや首里城公園をはじめとする観光施設及び会員店舗案内を掲載した「NAHA NAVI」の発刊事業。県内の観光施設・宿泊施設・交通機関等に配備し、来県する観光客への提供とともに、県外の旅行社、修学旅行関係者、沖縄観光コンベンションビューロー・県外事務所等からの求めに対して随時送付した。令和6年度については、コロナ禍からの市内観光需要が回復傾向にあった昨年度以上に需要が増加したため、修学旅行用を昨年度と比べ年間10,000部増の製作となった。

○実績

一般用	年3回発行	年間10.5万部	
修学旅行用	年2回発行	年間14.0万部	(対前年10,000部増)

2. 観光情報サイト「那覇ナビ」運営事業・那覇市観光協会ホームページ

那覇市観光協会公式サイト「那覇ナビ」で旬の観光情報や観光客受け入れのための情報を提供している。

事業毎に設けていたフェイスブック・インスタグラム等のSNSを統合整理し、観光イベントなどの情報発信の強化に努めたが、ページビューは思いのほか伸びずに一昨年と同程度となった。(直近5年では3番目)

○ページビュー数(令和6年4月~令和7年3月)

計: 514,043回(前年920,387回) 406,344回減

月平均: 42,837回(前年76,699回) 33,862回減

3. 県外での誘客宣伝及び那覇観光アンバサダー派遣事業

今年度から従来の「那覇観光キャンペーンレディ」の名称を「那覇観光アンバサダー」へ変更し、公募条件等として年齢・性別・既婚未婚不問とした。さらに「観光宣伝」「観光誘客PR」「公益的行事の進行・演出・品格保持サポート業務」「観光情報の発信」などの役割を明確化し、「稲嶺明香利さん、崎原有希さん」の2人を選出し、県内外の催事で那覇観光のPRに務めた。また、那覇観光アンバサダーのSNS(X、Facebook、Instagram)を活用し、観光情

報を広く発信した。

○那覇観光アンバサダーの主な派遣実績

- ・ 大阪市（5月）、北九州市（6月）、熊本市（7月）、大分市（1月）、新潟市（1月）での沖縄物産展
- ・ MICE主催団体（広島県・福山市）へ、次年度那覇開催の宣伝告知
- ・ 東京ドーム「めんそ〜れ沖縄・那覇DAY」（7月）でのプロ野球春季キャンプ関連PR
- ・ 3大祭りをはじめ、なんみん祭（5月）、県産品奨励パレード（7月）などの那覇市内での催事
- ・ 大型クルーズ船初寄港での関係者歓迎セレモニー など

任期期間中（令和6年5月～令和7年5月まで）40件以上の公務・イベント等に派遣。

昨年に引き続き、那覇観光アンバサダーが公務時に着用するコスチュームについて、県立那覇工業高等学校・服飾デザイン科の学生にデザイン制作を依頼した。授業を通して、那覇の魅力や観光について若年者が自主的に学ぶ良い機会に繋がっており、今年度は那覇の伝統工芸品である「琉球ガラス」をモチーフにしたデザインを採用した。

4. MICEの取り組み

○那覇市MICE受入推進検討会議（エリアMICE検討会議）

MICE受入推進都市として、那覇市をはじめとした市内事業者等と連携し、都市機能が集積する強みを最大限に活かしながらMICE開催誘致を図り、観光事業者のみならず来訪者の増加に伴う他産業への波及効果の拡大等を目指す受入推進検討会議へ委員として、5月・6月・1月（計3回）参加した。

○MICE開催歓迎支援メニュー構築事業

那覇市が実施する、市内でのMICE開催による満足度向上及び地域資源の消費促進に向けた歓迎メニュー構築事業に応募したが、残念ながら採択には至らなかった。

○海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業

上記のエリアMICE検討会議にて、那覇市・浦添市、両市観光協会やDMC、PCOが連携し、海外からのM（会議・研修）、I（報奨）旅行の誘致に向け、琉球王朝（古都）の知財を活かすコンテンツ開発を行い、全国のMICE実務コーディネーター等を招聘したモニターツアー（2回）を実施。M・Iのキラーコンテンツとなり得る、4つのおもてなしメニューの造成に取り組んだ。

5. 観光クーポン券取扱事業

那覇市域の滞在時間の延長と市内文化施設（識名園・玉陵・那覇市歴史博物館・那覇市立壺屋焼物博物館）の入館者増を目指し、大手旅行会社等を中心に観光券の販売契約を締結しているが、旅行形態が団体から個人型へ移行しており、団体クーポンの利用は減少傾向にあるため、個人型の市内文化施設の複数個所に割安で入場できる「共通クーポン」について紙クーポンと電子クーポンの両タイプで販売し、市内周遊の促進強化に取り組んだ。

○4 施設・観光券取扱状況

令和5年度 4施設 観光券取扱入場者数 17,963人 取扱額 5,497,640円
令和6年度 4施設 観光券取扱入場者数 12,660人 取扱額 3,942,260円
※壺屋焼物博物館（2024.11/26～2025.3/31まで改修工事に伴い臨時休館）

6. 観光まちづくり整備事業「那覇まちま〜い」事業

コロナで案内活動を休止するガイドが増加したため、大型団体や修学旅行の受入を制限していたが、ガイド研修やルートの見直し等を行い、令和6年8月より40名以上の大型団体や修学旅行の予約受付を再開した。団体受入に際し、時間配分のチェックや交通安全などを補助する「サポートガイド制度」を導入するなどオペレーションの改善にも取り組んだ。

また、市内の宿泊施設に1泊以上宿泊する修学旅行に対し、宿泊証明書の提出を条件に「市内宿泊割引」を適用するなど地域還元への取組みにも着手した。修学旅行は基本的に2年先の商戦となるが、早々に問い合わせもあり年度中の受注にも繋がった。

個人向けには、まちあるきだけでなく「沖縄そば打ち」や「ゆし豆腐作り」など体験メニューとパッケージ化した商品を企画・実施し、新たな客層へのアプローチに取り組んだ。

まちま〜いの英語版となる「Naha Walking Tours」については、SNSの活用や米軍基地内の情報誌へ広告掲載し、県内在住の外国人にも訴求。昨年度の実績については、モニターツアーの数も含めているため、受注件数は少ないものの、問い合わせは少しずつ増加している。

○那覇まちま〜い実績

令和5年度	参加者：	1,244人	参加料金：	1,955,780円
令和6年度	参加者：	1,513人	参加料金：	2,197,070円

○Naha Walking Tours 実績

令和5年度	参加者：	31人	参加料金：	198,920円
令和6年度	参加者：	7人	参加料金：	46,800円

7. 那覇市観光案内所・ショップ運営事業

那覇市観光案内所は、日本人観光客及び外国人観光客に観光情報を提供するとともに、訪れる観光客に対する問い合わせや電話対応に英・中・韓の多言語にて案内サービスを実施している。日本政府観光局（JNTO）から、外国人観光客に対応する観光案内所としてカテゴリⅡの認定を受けており、海外からの観光客におもてなし対応できるグローバルな観光案内所としてサービスの向上を図っている。また、社内開発した管理システムを活用し、記録情報の一元管理・データ分析などにより運営の効率化等を図っている。

ショップについては、観光協会の公益性から那覇の特産・物産振興を目的として、「那覇ならではの」「地場産品」「本物志向」を基本として観光土産品等を販売している。

(1) 観光サポートセンター運営体制

人員 8人

契約職員 7人（英語対応4、中国語対応2、韓国語対応1）

委託派遣職員 1 人 (NPO 法人那覇市街角ガイド 1)

(2) 観光案内所窓口来所者数 (令和 7 年 3 月末現在)

国内籍 : 18,106 人 (前年度比 2,448 人増、伸び率 15.6%)

外国籍 : 7,545 人 (前年度比 1,417 人増、伸び率 23.1%)

合計 : 25,651 人 (前年度比 3,865 人増、伸び率 17.7%)

(3) 観光案内所問合せ実績 (令和 7 年 3 月末現在)

データ登録件数 (窓口・電話)

延べ 15,669 件 (前年同期 1,878 件増) 月平均 1,306 件

(4) ショップなは収支状況 (令和 6 年 3 月末現在)

収入 17,892 千円 (前年 10,026 千円)

支出 21,527 千円 (前年 15,042 千円)

収支 △3,634 千円 (前年 △5,016 千円)

なお、令和 5 年 6 月～8 月中旬までのてんぶすマネジメント事業にかかる施設整備工事 (改修工事) によるショップの約 3 か月間の休業については、本年度において那覇市から 2,340,797 円の損失補填を受けた。

8. クルーズ船受入推進事業

国土交通省が 2022 年 11 月 15 日に国際クルーズ受入れ再開を表明。那覇港には 2023 年 1 月 2 日 (ぱしふいっくびーなす) が入港し受け入れを再開した。また那覇港の新しいクルーズ船寄港拠点 (第 2 クルーズバース) が 2023 年 2 月 1 日から供用開始され、17 万トン級 (MSC ベリッシマ) が 2023 年 6 月 7 日に約 2,800 名の乗客を乗せて初寄港した。当協会は那覇クルーズ促進連絡協議会から臨時観光案内所の開設・初寄港セレモニー対応・言語対応サポーター養成講座など事業受託している。

○実績

・初寄港セレモニー実施 12 回

・臨時観光案内所開設回数 190 回

※R5 年度臨時観光案内所設置運営実績 130 回

9. 島ぜんぶでおーきな祭「沖縄国際映画祭」

島ぜんぶでおーきな祭「第 16 回沖縄国際映画祭」は令和 6 年 4 月 20 日～21 日の 2 日間、「那覇文化芸術劇場なは一と」をメイン会場にして、映画作品では 25 プログラム (31 作品) の上映やステージイベント、ソーシャルビジネスコンテストなど各種イベントが開催された。最終日となる 4 月 21 日 (日) には、那覇市国際通りで沖縄国際映画祭のメインイベントとなる、「レッドカーペット」が実施され、沿道には今回最後となる「レッドカーペット」を見ようと多くの観客が集まり大盛況であった。今年度第 16 回の開催をもって沖縄国際映画祭は閉じることとなった。

来場者数は、2 日間の映画祭開催会場への来場者、イベント参加者の合計数が約 55,000 人と主催者報告があり、当協会は情報発信・クリーンアップ活動など事務局と連携して取

り組んだ。

10. 那覇ハーリー

令和6年度的那覇ハーリーは「第50回」の節目の開催となり、来場者へのオリジナル記念グッズ（エコバック）の配布や、初の市内高校生ハーリーの開催、市内宿泊施設と連携した那覇ハーリー特別宿泊プランの造成等の記念事業を実施し、期間中3日間で約16万2千人の来場となった。

また、従来同様、海上では熱気のある爬龍船競漕、陸上では飲食出店、ステージイベント等が開催され、多くの県民市民、観光客が来場し賑わった。

○第50回 那覇ハーリー

集客数 162,000人 ※3日間

11. 那覇大綱挽まつり

第54回「那覇大綱挽まつり」については、当協会が従前所管してきた「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」の代替イベントとして、てんぶす広場前とパレットくもじ前でのステージイベント「TSUNA フェス」を開催し、10月12日(土)～13日(日)の2日間多くの参観者で賑わった。琉球舞踊や獅子舞、空手演武などの伝統芸能に加え、ダンス等の市民団体の演舞等もあり、来場者・出演者共に充実した内容と時間を楽しめるイベントとなった。また、伝統行事の旗頭行列・大綱挽は、那覇大綱挽保存会や関係団体等と連携・協力のもと無事盛大に執り行われ、多くの県民、観光客が参加し活気あふれる内容となった。

○第54回「那覇大綱挽まつり」

旗頭行列・大綱挽 280,000人

RBC市民フェスティバル 330,000人

TSUNA フェス 4,300人

12. てんぶす飲食市

令和5年度に採択された「早朝・夜間の活動時間創出支援事業」の後続事業として「てんぶす飲食市」を「那覇大綱挽まつり」「TSUNAフェス」の連携事業として併催した。同時開催することで、集客を図り、多くの国内外の観光客に沖縄らしい文化・食を多く体験してもらうことを狙いとした。またイベント終了後、周辺飲食店にも客の流れがあり、今後も継続実施を求める声もあった。

出店数 9事業者（うちキッチンカー4事業者）

入込客 約2,000人（てんぶす那覇前TSUNAフェス併催実績）

13. 琉球王朝まつり首里

琉球王朝時代の歴史や文化を体感できる「第59回琉球王朝まつり首里」が11月3日に開催された。古式行列には国王・王妃など約180名の行列が奉神門・守礼門・龍潭通りを練り歩き、沿道には多くの県民や観光客が詰めかけ、華やかな琉球王朝の儀式に見入った。

また古式行列に続いて龍潭通りで開催された祝賀パレードには地元自治会や旗頭団体など約1,400人が参加。歴史を継承する青年らの掛け声や太鼓の響きで城下町がにぎわった。

13. NAHAマラソン

太陽と海とジョガーの祭典「第38回NAHAマラソン」が2024年12月1日に実施された。当協会は、コースとなる道路使用許可などの手続きに加えて医療救護を担当しており、大会当日の平均気温が22.1度・天気は晴れと熱中症が心配されたが、予想より低く気温が抑えられ重篤な症例が少なく大会を終了した。

○第38回NAHAマラソン

申込者数 23,968人

出走者数 21,438人

完走者数 14,067人 完走率 65.62%

14. プロ野球「読売巨人軍春季那覇キャンプ」

沖縄県の観光閑散期である1月～3月にかけて、プロ野球、プロサッカーチームが県内で春季キャンプを実施するなかで、県外から多くのファンや関係者がこの時期に来県し、県内各地のキャンプ地を周遊し、宿泊や飲食、土産品の購入など、県内に大きな経済効果を生んでいる。

当協会もキャンプの経済効果を那覇市内に取り込み、市内観光産業の発展に繋がるよう、読売巨人軍那覇協力会に参加し、読売巨人軍那覇キャンプの誘致及び受入体制の強化を図ることで、観光誘客促進、観光消費拡大に向け取り組んでいる。

○主な活動

- ・東京ドーム読売巨人軍主催試合において那覇デーの開催、内外で那覇の観光PR実施（令和6年7月14日）
- ・読売巨人軍那覇キャンプ実施のサポート
- ・2025 ジャイアンツかりゆしウエアの製作販売

○読売巨人軍春季那覇キャンプ実績

- ・観客動員数 95,602人（期間：令和7年2月15日～2月25日）

15. 観光地域づくり法人（登録DMO）の取り組み

地域DMOとして、①着地型商品の造成・販売、②クルーズ船受け入れ（臨時観光案内所）開設・運営の強化、③誘客宣伝事業アンケート調査などに重点を置いて取り組みを進めた。

特に②クルーズ船受け入れについては、寄港後に県内各地（特に南部方面）への周遊希望・問い合わせが多いことから、南部地域の観光協会や観光施設と連携し、観光客の満足度向上につながるよう外国語（英語版）マップを発行などに取り組んだ。

DMO組織体制及び取り組み事業等については引き続き事業改革委員会などで議論・意見交換を進めていく。

16. 事業改革委員会の取り組み

事業改革委員会については、令和6年度のテーマとして「観光地域づくり法人（地域DM

○)」の事業取り組みについて意見交換を進めることとしていた。その準備として当協会の実態等について整理したところ、最大の課題となる自主財源の確保、安定した組織運営手法などが課題となったことから、観光庁の「専門家派遣事業」に応募し、専門家から他の地域DMOの成り立ちや取組状況などの情報を得ながら、当協会の今後の方向に示唆を得られた。

専門家派遣事業については、令和6年9月から11月まで計6日間の派遣・レクチャーを受け様々な示唆が得られたため、これを事業改革委員会に情報提供したのち議論等を進めることとした。

事業改革委員会については、令和7年1月に同専門家を招聘し、特別セミナーを開催し、他市DMOの取り組み状況の説明を受け、その後に当DMOの最大課題とする財源等に関することについて意見交換を実施した。会議時間が短く十分な意見交換とはならず、今後も継続して情報提供しつつ意見交換を進めることとした。

日時場所 令和7年1月20日 沖縄県市町村会館

○特別セミナー

講師 well f.m. 一般社団法人 理事 善井 靖（派遣専門家）

○事業改革委員会 出席者10人（委員13人中）

17. 那覇市観光協会の会員拡大と組織の強化事業

県内観光関連産業・県内経済が回復基調にあるなか、未だ協会会員企業については厳しい状況が続いており、退会が微増している。当協会としては、協会HPへの会員企業情報の無償掲載、会員企業広告を掲載している観光マップ「NAHANAVI」の各所への積極的な配布などを進め、会員企業支援に努めた。

○会員数

令和4年度	354社（令和5年3月末）	入会 6社、退会 26社
令和5年度	335社（令和6年3月末）	入会 10社、退会 29社
令和6年度	333社（令和7年3月末現在）	入会 15社、退会 17社

18. その他

今年度の地域クリーンアップ活動は、主に国際通り周辺の清掃活動を実施した。活動には協会会員企業、各地域団体、イベント関係者が参加し、地域の清掃活動、美化活動に取り組んだ。

○「第16回沖縄国際映画祭」連携クリーンアップ

実施日 令和6年4月19日

場所 国際通り周辺 参加者 80名

○観光月間(OCVB 創立70周年)連携クリーンアップ

実施日 令和6年8月10日

場所 国際通り・沖映通り・のうれんプラザ方面 参加人数 140名

※清掃後の「那覇まちま〜い体験」にはAコース20名・Bコース22名が参加した。

○沖縄県サステナクリ～ンアップ大作戦連携

実施日 令和6年10月12日

場所 国際通り周辺 参加人数 130名